

【川渡地区】鳴子温泉地域学校統合説明会 報告書

開催月日	令和 4 年 12 月 6 日(火) 午後 7 時 00分～午後 8 時 15 分
開催場所	川渡地区公民館
出席者	<p>●地区住民 9 名</p> <p>●教育総務課学校教育環境整備推進室 4 名</p> <p>⇒小野寺参事, 鈴木係長, 佐藤主幹, 玉水専門指導員</p>
概要	<p>【経緯】</p> <p>・令和 3 年度に開催した「鳴子温泉地域学校統合に関する合同検討委員会」において, 4回の会議を通し, 鳴子中学校を活用した小中一貫の義務教育学校として統合するという方向性が示された。</p> <p>その方向性を踏まえ, 令和 4 年 4 月～7 月にかけて, 各校を会場としての保護者説明会(意見交換会)を開催し, 9 月には保護者を対象としたアンケートを実施した。</p> <p>今回, 当該アンケートの結果も踏まえ, 説明会の最終段階として, 各地区での住民説明会を実施した。</p> <p>【主な説明内容】</p> <p>・別紙資料を基に, 合意形成までの流れ, 児童生徒数の推移, 義務教育学校の概要, そして保護者アンケートの結果について説明を行った。</p> <p>【主なご意見等】 ○地区住民 ⇒教育総務課学校教育環境整備推進室</p> <p>◆参加者 1</p> <p>○子どもが来年 1 年生になるが, 保育園や幼稚園の保護者に説明なく進んでいるような印象がある。保育園等の保護者からもアンケートをとっていただきたい。</p> <p>令和 7 年の統合をぜひ進めていただきたいと思っているが, その実現にどのくらい近づいているのか教えていただきたい。</p> <p>⇒アンケートの回答率が58%程度, その中で賛成意見が 90%以上という結果から, 統合に対する保護者の皆様からのご理解はいただけたと考えている。次の段階として実施しているこの地区説明会で, 大きな反対等がなければ, 概ね皆様からの合意をいただけたと判断し, 来年 4 月頃に統合準備委員会を設置する流れとなる。そして令和 5 年度, 令和 6 年度と具体的な準備を進め, 令和 7 年 4 月に開校というイメージになる。</p> <p>仮に地区説明会で大きな反対があれば, 再検討となり時期が後ろにずれ込む可能性はある。</p> <p>◆参加者 2</p> <p>○詳しいアンケートと詳しい説明ありがとうございました。鳴子の学校統合について, 教育委員会からお話を最初に聞いたのが 9 年前。ですから, アンケートにもあったようにできるだけ早く進めていただきたい。時間をかけた結果, 方向性が出ているのに, またやり直しということのないように</p>

お願いしたい。地域の人たちも子どもたちが減っているということを日々感じていると思う。そういうことを考えれば時間をかけていられないことだと思う。なるべく早く進めていただきたい。

⇒鳴子については平成 26 年から話し合いを進めている。10 年近くたった今、やっと方向性が出という状況。合同検討委員会でも時間がたちすぎて、どのような話だったのかわからないというお話をいただいた。また、当時話し合いをしていた保護者の方も子どもが大きくなり卒業しているというお声もいただいた。教育委員会としても、現在の保護者皆様の思いを受け止め、可能な限り早く進めたいと考えている。

○川渡地区で 10 年前に学童を立ち上げた。そのノウハウがあるので、学童保育をぜひ鳴子中学校の敷地内に設置していただきたい。現在の児童館は建物がとても傷んでいる。

⇒学童保育に関しては合同検討委員会においてもご意見をいただいていた。子育て支援課が所管する部分になるため、その内容を伝えている。今後、子育て支援課と連携しながら進めていきたい。

◆参加者3

○先程、保育所や幼稚園の保護者への対応について意見があったと思うが、どのように考えているのか教えていただきたい。

⇒ごもっともな意見として受け止めている。川渡幼稚園については、今年度末をもって休園することで、保護者の皆様と話し合いを行っており、その中で学校統合に関するご意見を直接いただいているため、鳴子保育園と川渡カトリック保育園の保護者を対象としたアンケートとして実施していきたい。ただ、アンケートの内容については保育所・幼稚園の保護者用に作り直す必要があると考えている。

◆参加者2

○川渡の場合、小学校から中学校へ上がる段階で、岩出山であったり、古川の中学校へ行くというケースがある。生徒数が少ないからこそできる、きめ細かな魅力ある部活を作れないか。先生方にも頑張ってください。それができれば他地区へ行く生徒も減るのではないか。

⇒ご指摘のとおり指定校変更はある。理由としては学力向上のためであったり、小学校で取り組んできたスポーツができないことであったり、人間関係などがある。義務教育学校では学力向上、魅力ある部活といったことも考えていきたい。

◆参加者3

○義務教育学校のような小中一貫校では部活はどのようになるのか。

⇒7～9 年生が部活の対象となる。現在準備を進めている古川西部地区の統合校では、令和 5 年度から 6 年生の 1 月から部活の体験をさせて、7 年生の春から正式に部活に移行できる環境を作るよう動いているところ。鳴子でも同様に取り組むことは可能と考えている。

○先生の負担が大変ということが近年話題になっている。部活動の地域移行についてはどのようにお考えか。

⇒ガイドライン等がでている状況。現在、示されているのは、土日の活動につ

いて外部指導者も含めて部活動を支援するというもの。全容はまだ見えていない。結果的に先生方の負担軽減ということになるが、前提としてあるのが、スポーツに親しむ機会やスポーツを選べる環境を部活以外に見出すということ。それが進むと、学校に部活はないがあそこに行くことができるという状況になる。部活動の地域移行については学校以外で部活をやるということではなく、「スポーツに親しむための方法が広がる」というイメージで捉えていただきたい。

◆参加者4

○魅力ある部活動とは何ですか。やりたいことができる部活が魅力的なのか、成績を残せるような部活が魅力的なのか、そこを最初の段階でしっかり方針を決めておかないと、あっちの部活はこうやっている、こっちの部活はこうやっているというようになりかねない。ただでさえ人数が少なくなっていくのが分かるので、部活動を設けるにしても部活動数は限られてくる。その中でどっちにするのかハッキリさせておかないといけないと思う。

⇒内容的に統合準備委員会を設置した後に学校教育部会で検討をすることになる。現段階では回答できないことをご理解いただきたい。

⇒これまでは必ず何かの部活に所属することになっていたと思うが、今後は部活動への所属は任意となる可能性もある。それを踏まえた中で、どのように魅力ある部活にしていくか話し合いを進めることが必要になると思う。

○自分たちの世代は勝ってなんぼと思っていたが、今の世代は違うと思うので、今の世代の方の意見を吸い上げることが必要だと思うので、保育所・幼稚園の保護者へのアンケートは実施していただきたい。

⇒アンケート内容について、学校統合のほか、部活動に関することも織り交ぜながら作らせていただきたいと思う。

○鳴子中学校は校舎から校庭までの距離がある中で、不審者や熊などに対する安全面をどう考えているのか。校庭への移動途中などで不審者等が出た場合、急いで現場へ向かったとしても、どうやっても間に合わないのではないかと。カメラの話は聞いていたが、それで絶対に間に合うのか。安全は保障されるのか。

⇒案として、校舎の南側、現在駐車場となっているエリアを遊具エリアにして、職員室から直接見えるように考えている。行間や休み時間で校庭を使うような場合は、教員が当番制で直接見守るような体制をとれないか検討していきたいと考えている。

⇒統合してからの話にはなるが、学校では危機管理マニュアルを作成し、毎年更新している。例えば地震等の災害時の対応など。その中に、鳴子地域の特徴的な熊などの危機対応をどこまで必要なのかわかり検討し、盛りこまれるものと考えている。検討が必要なことではあるが、現時点で想定しお答えできるものではないと考えている。

【まとめ】

・学校統合への反対意見はなかった。